

パーソンセンタード・アプローチ・ワークショップ

ベーシック・エンカウンター・グループ 第1回

「人間尊重の心理学」を体験的に学ぶ

担当者	青木 剛（南山大学人文学部心理人間学科講師） 楠本 和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授） 永野 浩二（追手門学院大学教授） 大島 利伸（南山大学付属小学校教諭）
概要	<p>パーソンセンタード・アプローチとは、アメリカの臨床心理学者、カール・ロジャースが発展させた人間尊重のありようや姿勢をさします。ロジャースは、当初、「クライアント中心療法」という今日のカウンセリングや心理療法の基礎理論を発展させましたが、のちに、そういった心理臨床の世界に留まらない、様々な場面での人間尊重の姿勢を重視するパーソンセンタード・アプローチを展開していきました。</p> <p>パーソンセンタード・アプローチは、人が誰でも持っている、よりよくいきていこうとする力（実現傾向）を信頼し、自分も相手も大切にできるような自他尊重の関係を探求していくことが基本です。こういった考えは心理臨床家に限らず、教育者も看護者もグループやコミュニティでの実践者にとっても大切な視点といえるでしょう。</p> <p>ベーシック・エンカウンター・グループは、パーソンセンタード・アプローチの代表的なグループ・プログラムです。7名程度の人間が同じ場所と時間を共にしていきます。何をするかをあらかじめ決めないで、そこにいる人間の自発的な「語る／聴く」というやりとりを積み重ねながら、お互いを大切に出来るような安全感・信頼感のある場をみんなで作っていきます。そんな中での自分や他者とのふれあい・出会いの体験が期待できるグループがベーシック・エンカウンター・グループです。</p> <p>パーソンセンタード・カウンセリングについて学びたい心理臨床家、カウンセラー、人間中心の教育について学びたい教育関係者、子どもとの対話を深めたい親や養育者、対話ある職場をめざす企業関係者など、自分も相手も大切にしたい関係に関心を持つ方などをこのワークショップのターゲットと考えています。</p>
日程	2023年7月21日(金)13:00～7月23日(日)16:00 2泊3日
定員	14名
会場	南山学園研究センター 〒466-0834 愛知県名古屋市昭和区広路町隼人30
受講料	18,560円〈税込〉
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 楠本 和彦 記</p> <p>2023年度ベーシック・エンカウンター・グループが2023年7月21日（金）～23日（日）2泊3日の日程で、南山学園研修センターにて実施されました。参加者は13名、ファシリテーターは青木剛さん、永野浩二さん、大島利伸さん、楠本和彦の4名、事務局1名でした。2グループにわかれて、ベーシック・エンカウンター・グループを行いました。最初と最後に2度全体会を行いました。</p> <p>このベーシック・エンカウンター・グループは、パーソンセンタード・アプローチやベーシック・エンカウンター・グループが専門領域だった故坂中正義さんが開催を熱望していたものでした。今回、青木さんが中心になって動いてくださり、開催することができました。坂中さんの遺志の一端を実現でき、うれしく感じています。</p> <p>参加者の皆さんは2泊3日の間、じっくりと、他の方の語りやものがたりを聴き、他者と関わり、自分のところを見つめておられました。そのようなプロセスを通して生まれてきた様々な思いを抱えて、それぞれの日常に戻っていかれました。別れの挨拶の際、それぞれの方の顔がいきいきしているように私には感じられました。</p>